



2021年6月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ニ イ タ カ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 奥 山 吉 昭
(コード番号：4465 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 加 藤 貴 志
TEL:06-6391-3266

中国連結子会社における一部生産設備の操業停止の継続について（経過報告）と 中国第2工場建設期間の延長ならびに2021年5月期の業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月21日付にて適時開示いたしました、「中国連結子会社における一部生産設備の操業停止について」につきまして、下記のとおり経過開示いたします。

また、このような状況を踏まえ、当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり中国第2工場の建設期間の延長を決議いたしました。

これらを受けて、2021年5月期決算において特別損失を計上するとともに、2020年12月24日に公表した業績予想を修正いたします。

株主および関係各位に多大なご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 前回開示の経緯

当社連結子会社である新高（福建）日用品有限公司（以下、「NF社」という）は、中国市場向けの料理用固形燃料および主に日本市場向けの洗剤洗浄剤の製造を行っております。

このうち、料理用固形燃料について福州市应急管理局より危険化学品に該当すると指摘を受けました。同管理局による正式判断を待っている状況でしたが、NF社では、危険化学品生産に対応していないため、料理用固形燃料の生産設備の操業を停止しておりました。

2. 経過に関する開示

福州市应急管理局より、2021年6月22日付で料理用固形燃料の生産停止を命じられました。このため、NF社における料理用固形燃料の生産設備の操業の停止を継続いたします。

なお、日本市場向けの洗剤洗浄剤は引き続き生産しており、本件による影響は生じておりません。

3. 中国第2工場建設期間延長の背景

当社連結子会社である新高（江蘇）日用品有限公司（以下、「NK社」という）は、中国市場向け料理用固形燃料の増産対応に加え、中国洗剤市場への本格参入を企図して食器洗浄機用洗浄剤等を生産すべく中国第2工場の建設を鋭意進めておりました。

しかしながら、NF社における料理用固形燃料生産停止を受け、当該新工場の建設期間を2023年まで延長し、事業計画を慎重に見直すことといたします。

4. 固定資産の減損損失（連結）の計上について

NF 社につきましては、料理用固形燃料生産設備の操業が停止しており、生産を再開するには法規制に適応した改良製品の開発が必要となります。これには一定期間を要すると見込まれることから、減損損失 45 百万円を 2021 年 5 月期に特別損失として計上いたします。

NK 社につきましては、第 2 工場の建設期間を 2023 年まで延長することから、その回収可能価額を見積もった上で、減損損失 896 百万円を 2021 年 5 月期に特別損失として計上いたします。

5. 子会社株式評価損（個別）の計上について

上記減損損失を計上したことに伴い、当社が保有する連結子会社 NK 社の株式の実質価値が著しく低下したため、子会社株式評価損として 883 百万円を計上いたします。

なお、当該子会社株式評価損は当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結財務諸表においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

6. 業績予想の修正について

2021年5月期通期連結業績予想数値の修正（2020年6月1日～2021年5月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 18,300 | 1,900 | 1,930 | 1,300 | 220.21 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 18,400 | 2,400 | 2,430 | 700 | 118.57 |
| 増 減 額 (B - A) | 100 | 500 | 500 | △600 | |
| 増 減 率 (%) | 0.5 | 26.3 | 25.9 | △46.2 | |
| (ご参考) 前期実績 (2020年5月期) | 17,723 | 1,617 | 1,571 | 1,058 | 179.32 |

新型コロナウイルス感染症の影響が期末まで続き、想定よりもアルコール製剤の販売が堅調に推移したことにより、営業利益、経常利益は 2020 年 12 月 24 日公表の予想を上回る見込みであります。しかしながら、上記 4. の特別損失計上にともない、親会社株主に帰属する当期純利益は当該予想を大きく下回る見込みであります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以 上